

第4回日中韓気象学会共催国際会議と2009年度春季大会に関わる 新型インフルエンザ対策について

第4回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議（以下「日中韓会議」）と2009年度春季大会の開催が近づいた5月初旬に新型インフルエンザが国内でも発生したことを受け、常任理事会では5月10日に、新型インフルエンザ対策委員会を立ち上げ、日中韓会議と春季大会に関わるインフルエンザへの対応に当たって参りました。

日中韓会議は、直前まで予定通り開催する方向で準備を進めておりましたが、インフルエンザ感染者が急増していることをうけて、中国気象学会から延期要請を受けるに到り、やむなく秋以降への延期を行う決断を致しました。近藤 豊理事、田中 博理事をはじめとする実行委員会の皆様には、ぎりぎりまで中韓との折衝、会場・コンベンション業者との折衝にご尽力いただき、深く感謝しております。一方、会員の皆様には直前の予定変更のために大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。その後、中国・韓国気象学会と相談の上、11月8日（日）－9日（月）に春季大会と同じつくば国際会議場で開催することに致しました。春季大会との同時開催でなくなることから、交通費等でも2度手間をおかけしますが、延期された会議にも是非とも引き続きご参加いただき、交流を深めていただきますよう、御願い申し上げる次第で

す。詳しい情報は、実行委員会より学会ホームページや「天気」誌上でお知らせする予定です。

一方、春季大会については、林 陽生大会委員長を始めとする春季大会実行委員会の皆様に、マスクや救急室の準備や公開気象講演会における参加者リストの作成など、講演企画委員会からの報告にもあるような様々な事態に対する対応をご準備いただき、大変なご苦勞をおかけしました。また、想定される様々な局面に対応する上で、懇親会は柔軟な対応が難しいことから、大変残念ではありましたが、今回は中止させていただくことに致しました。会員の皆様には、大会の楽しみの1つを無くしてしまったことになり、残念に思われた方も多かったことと存じますが、事情をご賢察の上、ご了承いただければ幸いです。

最後に、未経験の緊急事態に冷静かつ適切に対応していただき、春季大会に関しては盛況のうちに開催していただき、また日中韓会議に関しては大きな混乱もなく延期の手続きをしていただきました。両実行委員会の皆様と、ご理解・ご協力をいただいた会員の皆様に深く感謝申し上げます。

常任理事会新型インフルエンザ対策委員会